

徳島県交通安全協会だより（令和8年10月号）

シートベルト着用推進旬間の実施（10/19～10/28）

徳島県では、シートベルトの着用が未だ定着されていないことから、本年10月、シートベルト着用推進旬間を設け、警察による交通指導取締りの強化やシートベルト着用率向上に向けた各種施策を推進します。

シートベルト着用状況調査

警察庁と（一社）日本自動車連盟（JAF）が昨年実施したシートベルト着用状況全国調査において、本県の着用率は全国平均を大きく下回る結果となっています。

R7 シートベルト着用状況全国調査結果
（一般道路）

調査対象	全国平均	徳島県
運転席	99.1%	98.7%
助手席	96.5%	90.7%
後部座席	45.8%	38.9%

※ 助手席の着用率は **3年連続全国最下位**

後部座席シートベルト非着用の危険性

特に着用率の低い後部座席は、衝突時に下記の危険性があります。

◆ 全身の強打

事故の衝撃により、前席や天井、ドアなどに叩き付けられ、全身を激しく強打するおそれがあります。

◆ 車外放出

衝突の勢いが激しい場合、車外に放り出されることがあります。

◆ 前席者への加害

衝突時に前方に投げ出され前席の背もたれに激突した場合、その衝撃で前席を押しつぶしてしまい、前席者の頭などに重大な損傷を負わせるリスクがあります。

シートベルトはあなたを守る命綱

本年8月末現在、徳島県内の四輪乗車中の死者4人全員がシートベルト非着用。もし着用していれば、4人全員が助かっていた可能性があると推定されています。